

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
キリスト教と人間	講義	2	樋口 進
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> 授業のテーマ: 本学の教育の根本であるキリスト教の人間理解について。 到達目標: 「聖書」に描かれている人間の姿から、真の人間のあり方について学ぶ。「聖書」の教える人間のあり方を学び、それを子どもの教育にいかんにかしていかをを考える。			
<b>【授業の概要】</b> 「聖書」に登場する人間がどのような生き方をしたかについて学ぶ。 キリスト教に影響を受けた人の生き方を通して、人間の生き方について学ぶ。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. ガイダンス、授業の方針の説明			
2. アダムとエバにつて(人間とは何か)			
3. カインとアベルについて(罪と罰の問題)			
4. ノアの洪水について(罪と罰と新たな出発)			
5. アブラハムについて(苦難と信仰)			
6. モーセについて(解放と救い)			
7. 士師(指導者)について(賜物の用い方)			
8. ダビデとソロモンについて(指導と権力)			
9. 旧約聖書の預言者たちについて(正義と公正と平和)			
10. マリアについて(偉大な女性)			
11. イエスの弟子たちについて(従順と裏切り)			
12. パウロについて(迫害者から伝道者へ)			
13. 迫害されたキリスト者について(忠節)			
14. キリスト教の精神の実践者について(シュヴァイツァー、キング牧師、マザー・テレサ)			
15. まとめ(総復習)			
<b>【準備学習の内容】</b> 予習のあり方: 事典などで学ぶ人物についての知識を得ておく。 学習のあり方: その人物がどういう生き方をしたかを考えながら学習する。 復習のあり方: 習った人物について、その生き方についてどう評価するかを考える。			
<b>【成績評価】</b> 平常試験(70%)、授業への参加度(20%)、礼拝など(10%)			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b> ノートと聖書でもう一度確認する。			
<b>【テキスト】</b> <b>『聖書 新共同訳』日本聖書協会</b>			
<b>【参考文献】</b> 授業時に紹介する。			